

## 平成24年度杉田SPIO研究助成金受領者の近況(中国より)

日本医科大学留学生 吉林省图们市人民医院耳鼻咽喉科 林彦

冬去春来，转眼间从日本回到国内已经一年了。回想起在日本的学习和生活，倍感留恋和亲切。

回国后，依然从事耳鼻咽喉科的临床工作，包括门诊及病房工作。虽然看病，处置，手术，每天过得忙忙碌碌，但是经常想起那段在日本医科大学耳鼻咽喉科实验室工作的时光，很是留恋。但工作内容与以往有了很大不同，那就是对大环内脂类药物在耳鼻咽喉科的临床应用有了更深更广的认识，尤其是它的抗炎作用。一年来，选择12例青少年(10~16岁)慢性鼻-鼻窦炎(CRSsNP)患者作为观察对象，结合临床指南，给予克拉霉素的小剂量长期疗法，认真观察其临床效果，10例患者痊愈。预计观察数量达到一定量时，做以详细总结。目前，有两篇论文正在发表中，一篇是《中国和日本的慢性鼻-鼻窦炎的诊治现状》，另一篇是《鼻出血276例的临床观察》。

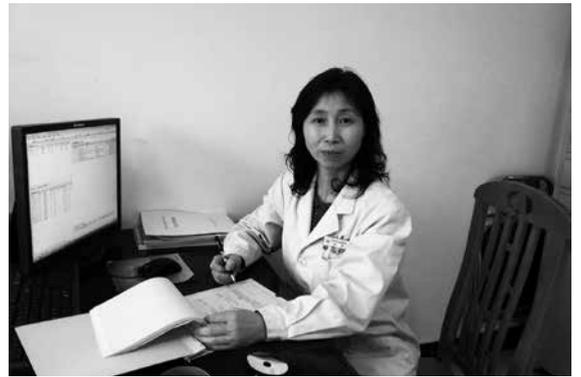
作为平成23年助成金の获得者，非常感谢国际耳鼻咽喉科学振兴会，以及我的老师大久保公裕先生，松根彰志先生，他们的敬业，严谨与坚韧是我学习的榜样。今后为了将在日本国际耳鼻咽喉科学振兴会的支持和帮助下进行的研究成果应用于中国的耳鼻咽喉科临床而努力，有机会再次和大家分享。

一陽来復、日本から帰国してあつという間に1年の月日が経ちました。日本での勉強と生活を振り返ってみると懐かしい気持ちで胸がいっぱいです。

帰国後、相変わらず耳鼻咽喉科の臨床に従事しております。外来、病棟、処置、手術などで忙しい毎日ですが、日本医科大学耳鼻咽喉科研究室での日々がたびたび思い出され、懐かしく感じております。帰国後の仕事の内容は留学前と比べて大きく変わりました。それは日本での1年間留学でマクロライドの耳鼻咽喉科における臨床応用について学び、理解を深め、また新たな抗炎症作用について基礎研究も行ったおかげだと思います。この1年間、私は12例の慢性鼻-副鼻腔炎(CRSsNP)の青少年(10~16歳)患者を対象として、臨床ガイドラインに基づいてクラリスロマイシンの少量長期療法を実施し、その臨床効果について観察しました。その結果、10例が完治しました。今後は観察症例数を増やし、その結果をまとめてご報告したいと考えております。現在、私は総説《中国と日本の慢性鼻-副鼻腔炎の診療現状》、論文《鼻出血276例の臨床観察》をまとめているところです。

平成23年度国際耳鼻咽喉科学振興会の助成金の受賞者として、国際耳鼻咽喉科学振興会、および指導教師の日本医科大学耳鼻咽喉科大久保公裕先生、松根彰志先生に心より感謝申し上げます。先生たちの仕事への熱意、努力、真面目、献身的姿勢は私の学ぶべきロールモデルです。これから日本国際耳鼻咽喉科学振興会のご支援で行った研究成果を中国の耳鼻咽喉科の臨床診療に生かせるよう日々精進していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(日本医科大学公衆衛生学教室 李英姫 訳)



## 平成24年度戸田SPIO奨学金受領者(米国より)

関西医科大学 高田 洋平

私は2012年7月よりアメリカのミシガン州にあるミシガン大学 Kresge Hearing Research Institute の Raphael Labo にて Research fellow として留学中で、はや一年半が経過しました。ミシガン大学は Ann Arbor という Detroit から車で西へ30分程に位置する緑の多いのどかなところにあります。全米犯罪率 No.1 の Detroit と反して治安は非常によく過ごしやすい場所です。ただ、冬は最低マイナス26度まで低下し、日本では経験したこともない非常に厳しい冬です。凍ったバナナで釘を打てるという漫画みたいな話が可能な世界です。

私の所属する Labo では gene therapy 等によって内耳の hair cell regeneration を主体としたことを中心に行っておりま



Laboメンバー(右手前が Yehoash 先生、次が私)